

西上州・御場山西ルンゼ 2017/02/11

メンバー：落合（CL・記録）, 平川

天候：晴れ時々小雪

御場山の氷瀑に興味を抱いたのは妙義の星穴伝説で知られる高立一本岩の存在を知った後だつたと思う。下仁田最奥部、その高立一本岩が聳える東に位置する山だ。

山麓の初鳥屋から仰ぐ姿は極めて西上州的な山容で登高意欲をそそられる。そこに氷瀑が掛かっていたらと思うと尚更だ。北西面は断崖になっており、氷瀑は西のルンゼに落ちている。

近くを流れる矢川川には夫婦岩なんて奇岩もあり、山村風景は西上州の哀愁さ漂い登山者も見る影少ない。下仁田の中でも寂れた空気感がまた何とも言えず、そこに魅かれてしまった部分もある。

御場山西ルンゼは昨年の1月下旬にも一度訪れていて、昨年は暖冬の影響もありそこには氷瀑らしきものがあるか無いか分からない程度にしか凍っていなかった。

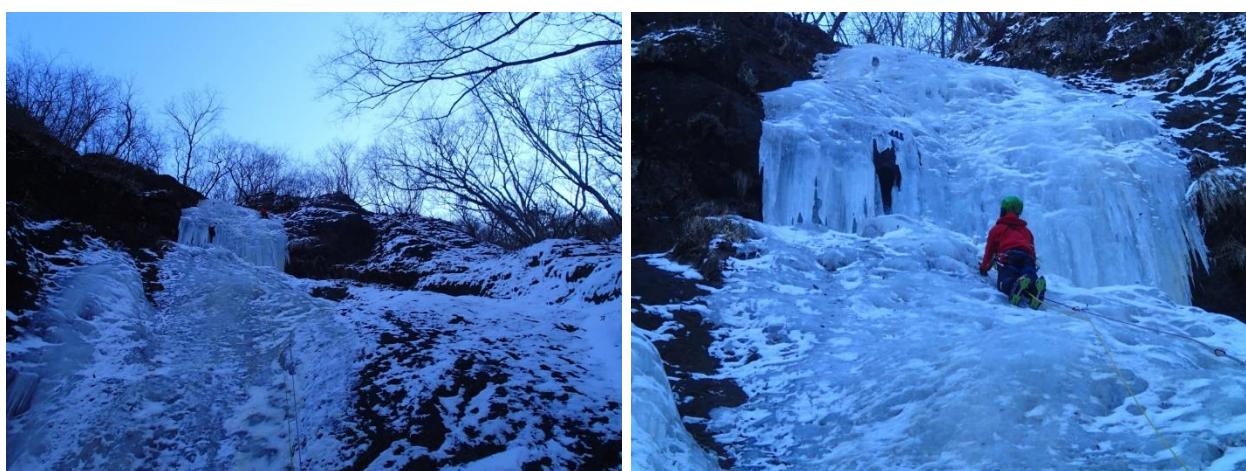
そして今年2月中旬、冷え込みが続いたこともあり今年なら…と淡い期待を寄せて再訪してみた。

今年行ってダメだったらもうここに来ることは無いかもねなんて話をして出掛けたみた。

高立集落から歩いて20分、いかにも西上州らしい近所の裏山に氷瀑が掛かっている。

恐る恐る滝に近づいて来たら昨年とは比べ物にならないくらい立派に凍っているではないか。昨年はガラクタにしか見えなかった滝がお宝に変わった瞬間である、二度来た甲斐があったようだ。

取りつきにザックをデボし、二人でひとつサブザックを持って登攀開始。



F1 50m III～IV+

出だしは氷が薄く10mくらいランナウトするが、中間から上部は安定しており思い切って登れる。上部は抜け口に掛けて傾斜が急になるので実力試しにちょうどいい、筆者は今シーズンやさしい滝しか

触ってなかつたので気が付いたら迷わずアックス・テンションしていた。高度感もあるので氷がいちばん分厚い所を拾って登ると手応えがある。

ルート上は滝が三本掛かっているが、途中滝の間には単調なゴーロ・ナメ歩きがあるので、昇天の氷柱や立岩 3 ルンゼのようなマルチピッチとはちょっと類が違う。華やかさは無いものの集落の奥すぐそこにある御場山の氷瀑はいかにも西上州的でペニストリー好みであることは間違いない。。

F2 は遠目からみるとシャンデリア状態で登れそうにないが、近くまで行ってみると右の一部だけしっかり繋がっているのでおこぼれ拾って登ってみる。F2 は冷え込みが続いても氷はさほど大きくならない感じでこれ以上いい凍結は望めないとみた。



F2 20m IV+

バーチカルであるものの、距離が短く中間右に小さいテラスがあるのでストレス無く登れる。

今回ペツルのレーザースピード・ライトを借りて数本試してみたが、今までの苦労は何だったんだろうというくらいスクリューがよく決まる。そしてアイスは黄色の偏光サングラスがいちばんいい事もよく分かった。

寒さで手が硬直してしまい終始喘ぎ声を上げながら登っていた平川君、ゴム手はスクリューを打つ時にグローブが捻じれがちになるためテムレスにも薄いオーバーがあるといいと思う。冬山は自分だけのアレンジで山道具道楽が楽しい。



F3 2段 30m III～IV+

また単調なナメとゴーロを少し歩くと F3 が見えてくる。滝としては 3 つの中ではいちばん安定した固い氷でこれ以上ないくらいに完璧な凍結状態。滝は 2 段になっていて下部は快適な III～III+、上部は下から見上げるより登ってみると意外と垂直でバーチカルな IV+、この日は冬型の気圧配置相まって滝上に出たら小雪が舞い強風吹き荒れる寒空の登攀となる、チョッとだけ冬壁な雰囲気で楽しかった。F3 上部はナメの二俣になっていて氷がしっかり繋がっていたがこれだけ風が抜ければ氷もしっかり凍るのは納得だ。

二俣は右に進み尾根上に出たら浅間山と神津牧場、関越自動車道がよく見えたが高速道から見上げる御場山はどんな感じに見えるのだろうか。滝で遊び過ぎてしまい時間が押してしまい山頂に立てなかつたのが唯一の心残りだったが、帰りはチョッと寄り道しながら付近の氷も観察するつもりが、うかつにもサブザックにヘッデンを入れてくるのを忘れてしまい、手堅く同ルート懸垂下降で基点に戻る。

ここ数年暖冬の影響で西上州のマイナー氷瀑群も凍結状態を掘るのが難しいが、フラれたり振り向いてくれたりその時に巡り合う‘一期一会’もアイスクラミングの楽しみ方のひとつのように思う。

帰りは現地近くの八千代温泉・芹の湯に寄った、こんな山奥の街灯もない道にほんとうに温泉があるのかという人里離れた場所にあり、夜遅くにも関わらず風呂にも飯にもありつけた。

西上州にはセブンよりセーブオンの方がよく似合う、セーブオンは西上州の空気が漂うから好きだ。

下山後のルーティーン、今日もお店の外で星空を見上げ珈琲を飲みながら￥50 アイスを大人食い(3個)して帰路に着いた。

西上州でこのルーティーンが近い将来出来なくなってしまうと思うと非常に残念でならない。。

※滝のグレードは個人的所見で、凍結状態によって大幅に変わると思われる所以参考までに。